

葦崎市 消防団 新聞



Vol.4

発行：平成30年12月26日
編集：葦崎市総務課危機管理担当

地域の消防力向上のため
消防ポンプ車・可搬式小型動力ポンプを交付



10月29日(月)、消防ポンプ車及び可搬式小型動力ポンプの交付式が行われ、神山分団に最新鋭のポンプ車、穂坂分団第2部並びに第5部に可搬式小型動力ポンプが交付されました。

市長から「地域消防力の要として、操作の早期習熟に努め、地域の消防活動に活かしてほしい」との激励があり、神山分団工藤分団長が、「地域の消防力を一層向上させ、市民の力となるよう気を引き締めて頑張りたい」と決意を述べました。



秋の火災予防運動

11月9日(金)から15日(木)の1週間、秋の全国火災予防運動が実施されました。

期間中、葦崎市消防団では、巡回、打鐘を実施し、火災予防の啓蒙活動を行うほか、11月10日(土)には、市内全域を消防ポンプ自動車で巡回し、火災予防を呼びかけました。

消防庁の調べでは、2月から5月の期間は火災発生の多い月として挙げられています。火災を起こさないよう、日頃から火の取扱いは十分注意しましょう。

幼年消防イベントも開催

11月9日(金)、火災予防運動の一環として、たんぼぼ保育園で幼年消防イベントが行われました。

約80名の園児が集い、踊りの披露や火災予防の願いが書かれた短冊を風船に付けて、一斉に大空に飛ばしました。園児の皆さんは声をそろえ「火遊びは絶対しません!!」と、大きな声で誓いました。



消防団からの お願い

空気が乾燥する春にかけては、野焼きなど火を扱う機会も増え、火災が発生しやすい季節となります。火を扱う際は、「火のそばから離れない。消火器や水を準備する。」など火災の予防に心がけ、風が強い日は、屋外で火を扱わないなど、火災が発生しないよう充分注意しましょう。

竜岡消防フェスタ

竜岡分団主催による竜岡消防フェスタが、11月4日(日)、竜岡スポーツ広場・竜岡体育館で開催されました。

当日は、天候にも恵まれ、消防車両の乗車体験や放水体験、煙体験ハウスなど様々な体験ができるイベントが行われました。会場内にはたくさんの子どもの笑顔が溢れ、子どもたちからは「楽しかった」との声が聞かれました。

将来を担う子どもたちに、消防団の活動をPRすることができました。



悔しそうな表情が印象的な県ソフトボール大会

10月27日(土)、山梨県消防団員親睦ソフトボール大会が、大月市総合グラウンドで開催されました。

本市からは清哲分団が峡北支部の代表として出場し、前回優勝の甲府支部に初戦で惜敗(8-10)という結果になりました。

惜しくも敗れてしまいました。が、他支部の消防団員との親睦が深まる大会となりました。

今後、団結力を結集し、葦崎市の防火・防犯活動に取り組みていきます。



ポンプ操法訓練

風も冷たく、凍えるような寒さの中、葦崎市営総合運動場グラウンドで、ポンプ操法訓練が行われました。1月13日(日)に挙行される出初式で披露するため、緊張感のある訓練となりました。



この訓練は、消防署員の方々に指導していただき、消火技術の向上並びに初期消火のために必要な技術を身に付け、いかなる状況下においても、指揮者の号令で、迅速、確実に安全に消火活動ができるようになるための訓練です。

団員の勇姿を出初式でぜひご覧ください。

分団紹介 一 葦崎分団 一



【嶋田分団長のコメント】

葦崎分団は、市の中心部に位置し、河川や山林を管轄している分団です。また、市の中心部であることから、花火大会の防火対策など、様々な活動を担っています。

全国的な課題となっている団員の高齢化や、消防団員の担い手の確保が難しい中、毎年新人に入団していただいておりますが、これは、本人はもとより、地元の皆様のご理解があつてのことであり、大変感謝しています。地元で愛される葦崎分団として、昼夜を問わず活動していることに対し、ご理解とご協力をいただいておりますことに、団員を代表してお礼申し上げますとともに、引き続き、団員の確保に際し、特段のご配慮をお願いいたします。